

ことばキャンプ4月のおたより



今月のレッスンでは、以下のテーマや、言葉を取り上げます。

ワーク（抜粋）	取り上げる言葉（一例）・ワーク解説	補足
どっちにする？	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちょうちょ／てんとうむし ・ ネズミ／ネコ ・ オレンジ／バナナ ・ はちみつ／ジャム ・ どうぶつえん／すいぞくかん ・ 恐竜博物館／科学博物館 ・ 太陽／ブラックホール ・ 各駅電車／急行電車 ・ 日本の城／ヨーロッパの城 ・ ポート／遊覧船 ・ 辛いことがあったら まずは一人で静かに考える／すぐに誰かに相談する 	<p>どっちにする？は2つの選択肢から1つを主体的に選ぶことで自尊感情を（低学年の場合*）、理由を言うことで論理力（高学年の場合）を育みます。</p> <p>*低学年クラスも年度後半になると、子供たちの思考のフレームワークが出来てくるので、理由を短い言葉で言ってもらうことがあります</p>
好きですか、きらいですか？（低学年のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ いちご ・ キャベツ ・ お花畑 	<p>1つの言葉を、好きか嫌いかで選び、その理由を教えてもらいます。「なぜならば…」という理由に加えて、「例えば…」と具体例が挙げられるといいですね。</p>
今日のプレゼン スモールトーク又はディベート（高学年、高学年アドバンス）	<p>わたし/ぼくが好きな動物（低学年）</p> <p>わたし/ぼくにとっての春（高学年）</p> <p>スモールトークテーマ： 学校の不思議</p>	<p>好きな動物をテーマにプレゼンしましょう。理由もしっかり言語化してもらいます。</p> <p>春といっても人それぞれ何を感じているかの感覚は異なります。自分にとっての春って、何でしょう。高学年だからこそ取り組んでほしい抽象度の高いテーマです。</p> <p>普段何気なく通っている学校ですが、どうしてこうなんだろう？ということを挙げてもらって視座を上げてみましょう。</p>

ワーク	ワーク解説	補足
ババチョップ (低学年、高学年)	体を動かす楽しいワーク。応答力を鍛えることができます。	「普通のバージョン」だけでも難しいのに、インストラクターが二回戦としてやる「時々間違えてしまうバージョン」は、やっているインストラクター本人もよくわからなくなってきた汗をかいています！
マジカルバナナ (高学年アドバンス)	言葉の連想ゲームです。拡散的思考力を鍛えることができます。	
メインワーク＝理解力 あいてのきもち(低学年)	今月取り上げる7つの力ワークは「理解力」です。 言葉は気持ちを伝える手段のひとつ。嬉しくなる言葉、明るくなれる言葉、勇気が出る言葉、悲しくなる言葉…自分が放つ言葉で、相手がどんな気持ちになるか？を考えて言語化します。	ことばキャンプの「理解力」は、「話を理解する力」です。ただ音として聞き流すのではなく、理解しようとして聞く力。「聞き上手」と言われるように、聞く力はコミュニケーションの要になる力です。人の話を聞く態度を身に着け、相手の話を受け止めて聞く力を養いましょう。
要約ワーク(高学年)	話を聞くときに、頭の中で整理しながら聞く力をつけます。短いお話を先生が読みますので、ポイントを押さえながら聞きます。最後に自分の言葉でまとめて発表をします。	
ふりかえり	レッスン全体を振り返って自分の取り組みを自分で肯定的に認めます。	セルフリフレクションといって、振り返る・言語化することで次の成長に繋がります。高学年では友達からの花丸コメントももらうことができます。

☆インストラクターから…

新年度、ご入学/進級おめでとうございます。ことばキャンプも令和8年度ということで教材は低学年、高学年ともに「B」になりました。テキストにはご自宅で取り組めるワークや言葉遊びのゲームが掲載されているので、親子で楽しみながら取り組んでいただければと存じます。

さて、4月といえば私は新人研修の繁忙期です。この時期は例年、社会人としての基本や、ビジネススキルの基礎というテーマで登壇させていただいています。自分の子どもたちと同じ年齢の人たちなので接する上では抵抗感はありませんが、特徴として「デジタルネイティブ」「納得して動く人が多い」「プライベート重視」がよく言われています。一方で、私自身も「デジタルネイティブ」以外は自分に当てはまるという気もするので、そう考えると集団で一くくりにはできないかもしれない、と思ったりします。保護者の皆様は、いかがですか？

認定インストラクター
山内みずき